

## 【教育の不易と流行】

（学校）教育が果たすべき使命とは何でしょうか。

豊かな人間性、確かな学力（ここでいう学力とは、知識や技能の習得にとどまらず、思考・判断・表現力をいう）、健康な身体、こうしたものを子どもたちに培うことは、いつの時代、どの国の教育においても大切にされなければならないこと（不易）であると考えます。

私はこれからの教育において、子どもたち一人一人が、伸び伸びと自らの個性を存分に発揮しながら、こうした「時代を超えて変わらない価値のあるもの」をしっかりと身に付けてほしいと願います。

一方で教育は、社会の変化に無関心であってはならないものです。「時代の変化とともに変えていく必要があるもの」（流行）に柔軟に対応していくこともまた、教育に課せられた課題であります。すなわち 10 年 20 年先の社会を見据えた「生きる力」を育てていかなければいけません。

前回の「校長室から」でも説明したように、これからの社会は『自ら課題を見つけ、仲間と協力し解決できる力』が重要になると考えます。ひと昔前までの、「与えられた課題をできるだけ早く正確にこなす力」では、流行遅れ?となります。

写真は 1 年生の美術の授業風景です。スケッチの仕方を学ぶ内容ですが、i P a d を用いながら、複数の生徒たちがいろいろアイデアを出し合いながら課題の製作にあたっています。授業の在り方もずいぶんと変わってきたと感じる光景です。

さて、夏休みが始まりました。今年からは宿題の在り方も工夫をしています。今までのように一律に共通のテキスト（夏休みの友?）をこなすのではなく、i P a d を持ち帰り、e ライブラリーという教材を自分で考え取り組むこととしました。ある生徒は基本問題を、ある生徒は発展問題を解きます。量や時間も生徒次第です。もちろん進み具合は学校で個別にチェックし、必要に応じて指導したいと思います。どうか、この生徒一人一人の主体的な取組を見守って下さい。

